

上海でホットな話題の一つは交通問題です。この問題は、電力不足などと並んで、社会経済発展の上での課題となっています。

### 上海のタクシーの特徴

上海では、自家用車、バス、地下鉄などの交通手段と並んで、タクシーが非常に大切な役割を果たしています。

現在、上海のタクシーの車種は、主にドイツのフォルクスワーゲン社との合弁会社で生産されているサンタナです。主なタクシー会社は「大衆」（水色の車体）、「海博」（青い車体）、「強生」（黄色の車体）、「錦江」（白い車体）、「巴士」（緑色の車体）などがあげられます。

タクシーの初乗り3キロの運賃は11元、3キロ以後は2.1元/キロ（10キロ以内）、3.2元/キロ（10キロ以上）となっており、夜間（23時～5時）の初乗りの値段は14元、3キロ以後は2.7元（10キロ以内）、4.1元（10キロ以上）となります。料金メーターの金額の単位は「元」で、料金の精算は小数点以下が四捨五入されます。

また、タクシーは予約もできます。タクシー会社に電話すれば、指定した時間帯と場所に迎えに来てくれます。「大衆」のみ4元の手数料が必要となりますが、「海博」など他のタクシー会社は予約手数料を取りません。

### 5つ星の運転手は千人に一人

上海のタクシーには、助手席の前に6桁の番号と星印を刻印した運転手の登録プレートが取り付けられています。6桁の番号は運転手の登録の順番を表し、数字が大きいほど経験が少ない運転手です。ゼロから五つの星印は運転手のレベルを表します。星を取るためには、上海市タクシー管理処の試験を受けなければならない、一つ星ですら合格するのは難しいといわれています。無事故、無違反は当然、運転技術やサービス能力に加え、高い教育レベルも必要な要素

です。五つ星を取るには教養も高く、ある程度の英語能力やガイド能力も満たさなければなりません。

上海には10万人のタクシー運転手がいますが、五つ星を有する運転手の数はわずかに100人あまりです。もし、五つ星の資格を有する運転手のタクシーに乗ることができれば、とても幸運だといえるでしょう。

### 上海の発展を支えるタクシー

現在、上海のタクシーは5万台もあり、東京のタクシー台数とほぼ同じです。にもかかわらず、上海のタクシー空車率はわずか20%だといわれています。このことから上海のタクシーの利用率が非常に高いことがわかります。

平日のラッシュ時間や天気が悪い日に、タクシーをつかまえることは非常に難しく、人々は争ってタクシーに乗ります。また、金曜日の夜も大変つかまえにくい時間帯の一つです。

連休や休日には、上海のタクシー利用回数は一日140万回以上に達し、のべ乗客数は約200万人、上海の旅客輸送総数の約3分の一を占めるといわれています。この数字は、急速な発展を遂げる上海におけるタクシーの重要性や経済発展に対する貢献度の大きさを物語っています。

そして、私達は、タクシーの窓から、この都市の発展や人々の生活の一面などを垣間見ることができるのです。

(2009年4月)



サンタナがほとんどを占める上海のタクシー